

那智勝浦ビンチョウマグロ – はえ縄

概要

那智勝浦ビンチョウマグロ延縄 FIP は、マグロ漁業が地域経済にとって非常に重要な存在である和歌山県那智勝浦町を拠点としている。全世界において減少しているマグロ資源の影響で脅威を感じている地域産業は、生鮮マグロ水揚げ日本一を誇る水揚げ港の名声を維持するために、マグロ漁業の持続可能性を改善する目標を持って、FIP を開始した。

FIP の目的

2022 年 9 月までに達成する目的:

- ・中西部太平洋マグロ種委員会 (WCPFC) が管理する北部のビンチョウマグロ資源に対し、管理方策評価 (MSE) に基づく目標基準値 (TRP) およびその他の漁獲方策を設定する。
- ・枯渇した主要対象種の回復を妨げない漁業にする。
- ・漁業が絶滅危惧種や生息地へ及ぼす悪影響を最小化する。
- ・漁業管理の目標が WCPFC および MSC の原則 1 と原則 2 にそう形にするに加え、予防的な意思決定プロセスを実施する。
- ・MSC 基準を無条件で満たすレベルに匹敵する漁業にする。

FIP のタイプ: 包括的

FIP のステージ: ステージ 3 :

ステージ 3 : FIP 活動の実施

プロジェクトの開始と完了:

2017 年 10 月 ~ 2022 年 9 月

次回の報告期限:

2019 年 4 月

魚種

一般名: ビンチョウマグロ

学識名: *Thunnus alalunga*

漁法: まき網

漁獲場所

FAO 漁獲統計海区

61 (太平洋、北西)

排他的経済水域 (EEZ)

国: 日本

地域漁業管理機関 (RFMO)

WCPFC

ボリューム

FIP による生産量: 200 トン

総生産量: 23,948 トン

進捗一覧

漁業状況: 本 FIP は 28 中 28 の指数を考慮している

現在の状況:



FIP 開始時の状況:



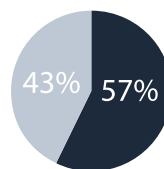
FIP の進捗:

進捗評価

A

優良な進展

完了したアクション



● 完了 ● 未完了

次回の報告期限:

2019 年 4 月

プロジェクトの
完了目標:

2022 年 9 月

FIP のリード

組織名:

株式会社シーフードレガシー (Seafood Legacy Co., Ltd.)

組織タイプ:

企業

連絡先:

村上春二 (shunji.murakami@seafoodlegacy.com)

ウェブサイト:

<https://seafoodlegacy.com/>

組織名:

オーシャンアウトカムズ (Ocean Outcomes)

組織タイプ:

NGO

連絡先:

ジョセリン・ドリューガン (jocelyn@oceanoutcomes.org)

ウェブサイト:

<http://www.oceanoutcomes.org/>

FIP への参加者

株式会社ヤマサ脇口水産

第78海王丸